



# 区議会だより

第161号

2003年(平成15年)4月20日  
江戸川区議会発行  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-5556

## 第一回 平成15年度各会計予算案を可決 総額2,863億円



小松川千本桜

### 議員報酬の減額等を決定

### 意見書6件を関係機関に提出

平成15年第一回定例会は2月18日から3月19日まで  
の30日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、平成15年度各会計予算  
案を含む23件の議案と報告1件が提出されました。  
各会計予算案については、予算特別委員会を設置  
し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審  
査を行いました。

これらの議案は、いずれも原案のとおり可決され  
ました。  
また、議員からは議員報酬の支給方法を改める  
「江戸川区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する

条例の一部を改正する条例案と報酬額を減額する  
ための江戸川区議会議員の報酬の特例に関する条  
例案」が提出され、全会一致で可決されました。2ペ  
ージに要旨を掲載。

そのほか、「仮称「環境教育・学習推進法の早期制  
定を求める意見書」を含む6件の議案が提出され、  
それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送  
付しました。

この定例会の会議録は、6月下旬にできあがりま  
すので、詳細はお近くの図書館、コミュニティ図書館、  
または区議会事務局でご覧ください。

### 議員から出された議案

意見書は各関係機関に送りました

江戸川区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の  
一部を改正する条例(全会一致)

江戸川区議会議員の報酬の特例に関する条例(全会一致)  
「(仮称)環境教育・学習推進法」の早期制定を求める  
意見書(全会一致)

〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、  
文部科学大臣、環境大臣 あて〕

教育基本法改正について慎重審議を求める意見書  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣 あて〕

国から地方への税源移譲を求める意見書  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、  
財務大臣、経済財政政策担当大臣 あて〕

中小企業に対する支援策の早期拡充を求める意見書  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、  
財務大臣、経済産業大臣 あて〕

米国のイラク攻撃に反対し平和的解決を求める意見書  
賛成 23 (公明党、ネット・民主、日本共産党、社民党市民クラブ)  
反対 15 (自民)  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣 あて〕

北朝鮮をはじめとする北東アジア地域の平和と非核化の  
推進を求める意見書(全会一致) 棄権 4  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣 あて〕

印はすべて 賛成 34 (自民、公明党、ネット・民主、社民党市民クラブ)  
反対 4 (日本共産党)

### 会派の略称

自 民 = 自由民主党  
ネット・民主 =  
生活者ネットワーク・民主党  
社民党市民クラブ =  
社会民主党市民クラブ

### 定例会日程

2月18日 議案上程、委員会付託  
20日 代表質問  
21日 代表質問、一般質問  
24日 予算審査  
3月10日 議案審査  
11日 議案審査  
12日 請願・陳情等の審査  
19日 委員会報告及び表決

### 皆さんから出された請願・陳情

今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの	付託委員会名
109号 区議会の海外視察の中止などを求める陳情	議会運営委員会
110号 株式会社大誠開発、株式会社ダイニチの西 西三丁目マンション建設に関する陳情	建設委員会
111号 京葉道路の中川新橋交差点に歩車分離式信号の設置を求める陳情	建設委員会
112号 患者負担増の凍結・見直しに関する陳情	福祉健康委員会
113号 用途地域等見直しの素案に関する陳情	建設委員会
114号 誰もが安心して医療を受けられるように、高齢者の窓口負担の軽減、乳幼児医療費助成の対象拡大等を求める陳情	福祉健康委員会

今回の定例会で結果が出されたもの	結果
93の1号 「遺伝子組み換えイネ」を学校給食に使用しないこと、並びに、その承認に関して国への意見書を求める陳情	趣旨採択 (全会一致)
95号 「住民基本台帳ネットワークからの離脱決議」を求める陳情	不採択(29:4) 棄権5
108号 政府に「不戦の意見書」の提出を求める陳情	趣旨採択 (全会一致)

議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

今定例会までに結論の出していない請願1件、陳情33件は審議未了となりました。

### 区長から出された議案

- 予 算
- 平成15年度江戸川区一般会計予算
  - 平成15年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算
  - 平成15年度江戸川区老人保健医療特別会計予算
  - 平成15年度江戸川区用地特別会計予算
  - 平成15年度江戸川区介護保険事業特別会計予算
  - 平成14年度江戸川区一般会計補正予算(第5号)
  - 平成14年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
  - 平成14年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 条 例
- (廃 止)
- 江戸川区私立高等学校、私立大学等入学資金融資基金条例 (一部改正)
  - 江戸川区組織条例
  - 江戸川区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例
  - 江戸川区監査委員の給与等に関する条例
  - 江戸川区情報公開条例
  - 江戸川区立福祉センター条例
  - 江戸川区立熟年ふれあいセンター条例
  - 江戸川区立学童クラブ条例
  - 江戸川区立知的障害者援護施設条例
  - 江戸川区国民健康保険条例
  - 江戸川区国民健康保険高額療養費資金貸付条例
  - 江戸川区介護保険条例
  - 江戸川区生活一時資金貸付条例
  - 江戸川区母子福祉生活一時資金貸付条例
- その他
- 特別区道の路線認定
- 報 告
- 議決を得た契約の契約変更

印はすべて 賛成 34(自民、公明党、ネット・民主、社民党市民クラブ)  
 反対 4(日本共産党)  
 それ以外はすべて全会一致。

### 請願・陳情の出し方

請願・陳情とは、区民の皆さんの意見や要望を行政に反映させるため、議会に対して文書で施策の実現などを要望する制度です。

件名、趣旨、項目を簡潔、明瞭に記した文書を区議会議長あてに提出してください (下記書式例をご参照ください)。

案件が2件以上にわたる場合は、それぞれの案件ごとに分けて提出してください。

陳情の場合、下記書式例の標記は、陳情となり、紹介議員の欄は省略します。他は請願と同じ構成です。

お問い合わせ及び提出先は、区議会事務局まで。

氏名	住所	平成 年 月 日	請願(陳情)の項目 (内容)
江戸川区議会議員	江戸川区	請願者(陳情者)代表 氏名 住所 電話番号	紹介議員 甲 野乙雄 <sup>◎</sup> (署名又は記名押印)
住 所	丁 目	電話番号	
	番 号		
	印		

### 議員報酬等を改正しました

#### “ 議員報酬を減額し、更に支給方法も改めました ”

**背景・目的**

区議会では、直面する厳しい社会経済情勢を踏まえ、昨年11月に「議会のあり方検討小委員会」を設置し、議会活動にかかわる財政及び運営面について検討を重ねてまいりました。

その結果、近年の経済状況を反映したデフレ物価、民間・公務員給与の動向、更には本区の財政状況等を勘案し、区議会自らも財政面における一層の健全・適正化を図ります。

**内 容**

1 議員報酬の減額

(1) 議長、副議長.....現行の報酬月額から5%減額

(2) 委員長、副委員長、議員...現行の報酬月額から2%減額

議 長	956,000円	908,200円
副議長	807,000円	766,650円
委員長	661,000円	647,780円
副委員長	641,000円	628,180円
議 員	621,000円	608,580円

☆特例条例により、平成16年3月31日まで。

2 支給方法の改正

今までの議員報酬の支給方法は、月を単位として支給してきました。たとえば、月の途中に議会の議長、副議長、委員会の委員長、副委員長及び議員の職に就いたとき、あるいは、それらの職から離れたときは、それぞれの職に応じた報酬額をひと月分支給してきました。

これからは、その職に就いた日、離れた日を基準として、日割により算出した額を支給する方法となります。

☆平成15年4月1日から実施します。

### 区政への質問

2月20日、21日に代表質問と一般質問が行われ、これまでの健全財政や雇用創出への取り組みのほか、子育て支援、医療費問題、公共交通のあり方など区政全般の課題について活発な議論が展開されました。

ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

### 代表質問

区長は健全財政と地方自治にどう取り組んできたか



自由民主党  
すが 精二

区長は区民第一主義の理念のもと、人件費の抑制、行政組織のスリム化、民間活力の導入等のほか、施策の見直しや施策実施の優先度の比重のかけ方の再構築により、健全財政推進に取り組み、着実に経費削減効果をおげてきた。これまでの思いと今後の目標について聞かせてほしい。

この4年間健全財政を維持しつつ、区民の期待に応えることができたと考える。今後も歳入増加が困難な中、施策の見直し、IT活用、民間委託等で財源を生み出していく。今後、地方分権の推進、行政のスリム化

(2)在宅と特養の中間基盤を整備していく。

江戸川方式の教育改革について

教育委員会は保護者や地域社会との相互理解や教育改革に共に取り組む姿勢が必要。柔軟な発想を持ち、指導からサポートに転換を

(2)保護者や地域のニーズに合わせるための具体的な改革案や江戸川方式の見直しはあるのか。

地域との連携・区民参加の環境を更に整備しながら、優れた人材に活躍いただくことが大切。学校、地域、家庭の連携した取り組みを進める。

区長は地方自治をどのように認識し、何を目標としてこの4年間取り組んできたのか。

幸福追求と産業・教育を含むまちの発展が、成熟したコミュニティの中で育まれていくよう努力していく。

健全財政を堅持し安心・安全の江戸川区の実現を！



公明党  
安田 明

長期計画実施の初年度にあたり区政運営への決意を。また、健全財政を維持するため区政改革と施策をど

展開するののか。

歳出のあり方を見直す。まちづくりについては、財源が別枠であり、積極的に進める。

区と民間の協働による公共事業等を通して雇用機会の拡大を。

民間活力の導入を進めることで雇用創出につなぐと考える。

区内バス路線の更なる充実について

ミニバス等の導入への進捗状況を。

低床型バスの充実、バス停の整備や禁煙の徹底を。

東京臨海病院へのアクセスの改善を。

(1)区の財源投入は避けたい。時間をかけじっくり取り組みたい。

順次成果がある。

バス事業者と協議。

東京臨海病院の診療体制について

土曜日診療の実現を。

病院の近くに調剤薬局の設置を。

(1)病院は試行した

と言っている。

(2)病院と薬剤師会で話し合っている。

介護療養型医療施設の設置を。

働きかけは続ける。

特養ホームの入所基準策定と緊急シヨートステイの充実を。

基準を作成中。積極的に整備していく。

介護予防、自立支援に有効なパワーリハビリテーション導入を。

アゼリー江戸川で試行的に導入する。

本区の福祉のあり方や方向性を問う。

介護予防に戦略的に取り組む。介護保険に移らなかつた施策は原則的に後退させない。

中小企業対策

(1)企業間のビジネスチャンス創出の施策を。

(2)商店街空き店舗対策の促進を。

(1)きめ細かく実施。

(2)誘導・支援していく。

新川の整備促進

(1)新渡橋以東の整備スケジュールを。

(2)都と一体となり積極的に推進を。

都は新年度に詳細設計、16年度から着工したいと言っている。

地域住民の願いである京成線立体化に向けての推進計画と今後の取り組み状況を。

都・飾区・江戸川区で検討・究明中。

子育て支援を更に進めるように！



生活者トウク  
民主党  
田辺 達昭

子育て支援について

(1)子育て広場のあり方について

本区の子育てについての最大の課題は、約2万人といわれる3歳児未満への支援策である。その内の7割は家庭内保育をしており、唯一行政の目が行き届かないところである。

核家族化の進行や近所付き合いが稀薄になり、母親は育児について相談する場がなく孤立している。

現代の母親は知識があればあるほど、悩みは悩むほど、孤独であればあるほど、母親としてのプライドが強くなってきているようである。そんな時に自治体等が設置した相談窓口にお気軽に相談を、と言われても、子育てに対する無知を他人に認めることは少ない。

そこで満3歳児未満の行政対応が欠けている子育て施策として、母親が気軽に集まり、子育てや共通の悩みを話し合える「子育て広場・フレンド&コーヒ

」の場の提供を。

(2)乳幼児養育手当の全面見直しを求める。

対象を3歳未満まで拡大し、金額を2万円まで引き上げること

で、保護者の保育園か家庭内保育かの選択の幅が広がること

ので検討してほしい。

3千円の差額のため

に所得で線引きするのは客観的に見ても納得がいくものではない。

所得制限撤廃の検討を。



(1)子どもは、それぞれ親の元で大切に育てられている。しかし、何らかの不安を持ち、話し相手を求める親もいる。子育て広場は、この部分に光をあてて、こういう場を必要とする人がいつでも気軽に来られるようにするものである。どのくらい用意するかは、状況を見て弾力的に行っていく。

(2)子育て支援については、歴史的な経緯はあるが、家庭保育者と保育園入所者に対する行政コストのバランスなど、いびつになっている面もある。しかし、



(1)行政は安全網的なことを行い、民間にできることはお願いしていく中で、「福祉資源」が地域に育っていくのが望ましい姿である。

乳児養育手当のみを見直せば是正されるものではない。子育て施策全体を体系的に考えなければならぬ問題であると認識している。

医療費凍結・中小企業・小松川・三〇人学級を



日本共産党  
セバタ 勇

大不況のもとで区民の暮らしと健康を守るため、政府に消費税増税と健康保険本人三割負担凍結の要求を。

反対しない。

区医療制度の改善  
高齢者の医療費の限度額を超える窓口負担の免除の実施を。

限度額を越える医療費の貸付制度の検討を。

不可能である。

用意する必要はない。

中小企業支援

仕事の確保に思いきった緊急対策を。

消費税分を助成する

リフォーム制度新設を。

空き店舗実態調査の

実施と実効ある対策を。

雇用の確保のために

就職合同面接会は年

二回以上の実施を。

青年のための相談室

の設置を。

ディーゼル車の排ガ

ス規制に支援の強化を。

国とメーカーの責任

を明確にし、十分な補助の要求を。

買い換えには都融資に上乗せ融資の実施を。

融資償還期間延長を。

新設しない。

調査は実施済み。精

力的に取り組む。

来年度からフルタイ

ム就業相談を実施。青

年層の就業相談も可能

除去装置取付助成

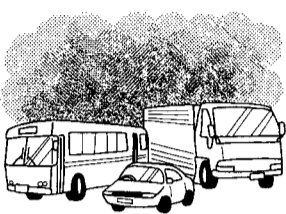
制度を実施する。

都条例で規制して

いるため、都が対応す

ることは当然。融資延

長は考えにくい。



教育行政について

区として少人数学級

実施を強く求める。

耐震補強工事実施と

普通教室にクーラーを。

学校給食調理業務の

民間委託の実施結果を

多面的に総括し、その

後の長期的方針の検討

を。また栄養士の全校

配置は長期的に継続を。

社会性を育てる

ため40人学級は適当。

来年度は2校を予

定。エアコンは状況を調査しながら対応。

委託の方針でいく。

栄養士は見直し対象

小松川防災拠点の

街づくりについて

E30、E7街区の都

営住宅建設の見直し。

勉強会通りに商業施

設の整備を。

小学校、中学校建設

について区長の所見を。

E30街区は15年

中に、E7街区は16年

以降に一部着工。

誘致に努める。

児童数が極度に増え

る見込みはない。慎重

に対応したい。

区民要望の多い14項目について質問する



社会民主党  
市民クラブ  
かとう 学

未来を担う人づく

りに関連して、地域に

密着した事業展開が可

能なコミュニケーション

ネスに対し、区として

支援と育成を。

幅広く活用し地域の

発展を目指していく。

学びと協働による

区民文化づくりに関連

して

大杉地域にコミュニ

ティ会館の建設を。

文化と伝統のエリア

として小松川境川親水

公園に七福神の設置を。

区民まつりや地域まつりを見直し、限りある財源の有効活用を。

図書館は時代に即応

しニーズに応えること。

必要性は認識。

住民の中から自然発

生的に生まれ、定着す

ることが望ましい。

区民と一緒に考えて

いくべきもの。

積極的に検討する。

いきいきとした生活

のための健康・福祉の

社会づくりに関連して

人口増加地域の保育

ママについては新しい

施策の展開を。

区立保育園の昼寝用

シーツカバーはなぜ親

がかかるのか。

松島・中央地区に温

水プールの建設を。

(1)制度を弾力的に

運用していく。

保育士の意識の問題

として考えなければな

らない。

将来の課題としたい。

区民参加による環

境づくりに関連して

荒川中堤防河川敷利

用の具体的方向性を。

歩道のスペース等に



椅子を整備する「仮称

やすらぎの道」構想に

ついての区長の考えを。

民間活力を活用して

ドッグランの設置を。

(1)中堤防が沈下中

でありその対策が第一。

空間づくりに努める。

都市に必要な施設と

認識。飼い主のマナー

と犬の躰の確立も大切

活力を創造する産

業づくりに関連して

江戸川方式の地域住民

共済制度の設立を。

研究課題とする。

区民の暮らしを力

づくよく支える街づく

りに関連して

ピーチリゾートして

の区民保養所の建設を。

交通不便地域解消の

ためミニバスの導入

を。またハブのバス停

に駐輪場の併設を。

(1)充分検討が必要。

慎重に対応したい。

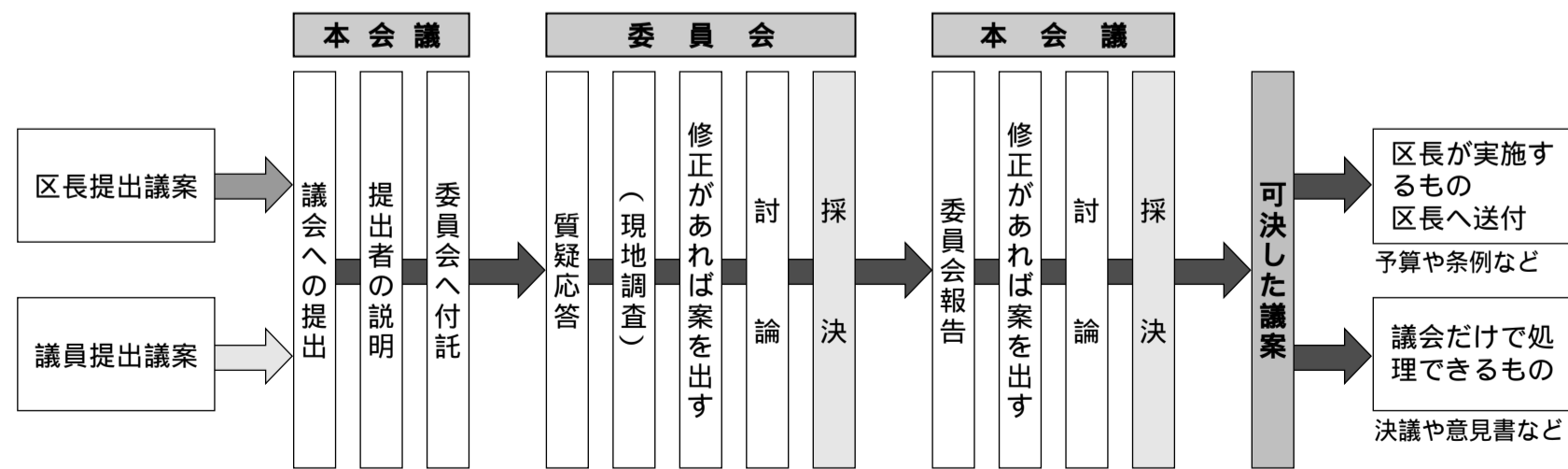
駐輪場は研究したい。



本会議の様子

議案の成立まで

所定の手続きを経て議会に提出された議案は、通常、委員会で審査され、その結果を受けて、本会議で議決されます。議案の提出から議決までの流れは、概ね次のとおりです。



投票は午前7時から午後8時までです。忘れずに投票しましょう。

# 一般質問

職員採用は計画的に  
街並りに行政の明確な指針を示せ



渡部 正明  
自由民主党

平成15年度は試験職種の職員を採用しないことについて、財政運営上の効果や行政のスリム化は望んでいるが、区内には自分たちの住む江戸川区で夢と情熱を持って働きたいと願う多くの若者がいる。行政の効率、採算性、健全財政を追い求め、門戸を閉ざし続けることは、自治体として社会的責任という観点から不安を感じている。今後の非現業職員の採用方針を聞かせてほしい。

健全財政を堅持していくうえで、民間委託のできる部分については民間に責任を持ってもらい、区は身軽になつていく必要がある。また、新規採用をしないということも公的な仕事の場を閉ざすことにはならず、民間委託した仕事の中で責任を持って区に関わる場はあると考える。組織的な大枠の流れの中

では、試験職種の新規採用を継続していくことは大切。16年度の試験職種の採用については今後精査していく。

幹線沿道と後背地を一律に面としてとらえた街づくりのためには、行政が住民に対し、公平な誘導方針を明確に持ち、絶対高さを導入していくことが重要であると考えるが、区長の所見を。



まちづくりの進め方をどう評価するかは、一概に言えず難しい。先見の明を持って1千haの区画整理を行ってきた。区民とともに現実に即した努力により、様々な手法を取り入れた街づくりを進めてきており、熱烈的な地域愛で行っている。

新中川高水敷の緑地利用についての検討状況を。

高水敷の活用方法や水面利用を含め、地域住民等と共に流域協議会を設置し考えていきたい。

緑の小道の維持管

理を沿道住民の協力を得て進めるべきと考え。また、住民の不公平感の解消や安全な街づくりの観点から、片側歩道を見直し、両側歩道にしてほしい。

区民の協力のもとに進めていきたい。



藤沢久美子  
日本共産党

介護保険・保育・学童クラブ・京成本線立体化

介護保険について  
1) 保険料の据え置きを。利用料の負担軽減を。第二段階まで拡大を。国の引上げ分のうち3%を区独自で軽減を。(2) 特養ホームの増設を。(3) 値上げを。考えていない。

制度のとおり行う。(2) 積極的に取り組む。(3) 積極的に取り組む。

区立保育園増設  
(1) 区立保育園増設。保育士削減には反対。(2) 保育士削減には反対。ゼロ歳児保育実施を。



(1) 民間活力に期待。見直す必要がある。(2) 学童保育をなくさない決意を。(3) 指導員は正規職員で。

区長選における区長の公約について

山崎さとる  
自由民主党

区長は区長選挙の出馬に際しては、抽象的な公約から脱却し、具体的に分かりやすく、区民にとつて実感の湧く公約を掲げるべきである。どのような公約を、いかなる方法で周知し、信を問うていく

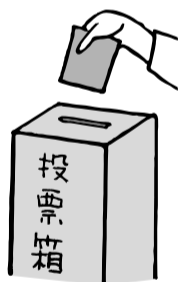


山崎さとる  
自由民主党

区長選における区長の公約について

山崎さとる  
自由民主党

区長は区長選挙の出馬に際しては、抽象的な公約から脱却し、具体的に分かりやすく、区民にとつて実感の湧く公約を掲げるべきである。どのような公約を、いかなる方法で周知し、信を問うていく



のか。また、投票した有権者にとつて、自分が選んだ区長が公約を施策として実現していくことは、政治に対する自律や主体性、参加意識を育て、政治不信の回復につながっていくと考えられるが、区長の所見を聞かせてほしい。

四年間の区政運営そのものが公約であり、区政が何を目標としてきたのかということについて、多くの区民に理解されていると考えており、選挙で審判を問うことになると思う。公約の内容と選挙用公約の内容の表現によってのみ判断されるものではないと考えている。地方自治において、地域の気持を一つにして、将来の夢と希望に満ちた地域社会を築きあげていくことが重要。四年間の総括をご理解いただくよ

## 三二辞典

代表質問・一般質問

議員が区政全般にわたり、区長に対し、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すること。(代表質問・所属する会派を代表して行う質問のこと。)

う話をして、十分なコミュニケーションの中で選挙を目指していきたい。

各議員の本会議・常任委員会欠席日数一覧表(平成11年5月～平成15年3月)

氏名	11		12		13		14		欠席理由
	本会議	常任委	本会議	常任委	本会議	常任委	本会議	常任委	
間宮 由美						1 (17)		1 (14)	所用2
藤沢久美子					1 (19)				所用1
竹内すずむ									
田中じゅん子									
細部 葉子									
木村 長人						1 (17)			所用1
海野 幸男	4 (18)	3 (22)	5 (19)	4 (17)	19 (19)	16 (17)	9 (18)	8 (14)	所用30・病気38
山崎さとる									
深江かずゆき									
すが 精二									
荒井てるお									
セバタ 勇									
川瀬やすのり									
片山たけお									
田島すすむ									
須賀 清次				1 (17)					所用1
中山やすじ	1 (18)	2 (18)	4 (19)	3 (18)	6 (19)	5 (17)		1 (14)	所用22
渡部 正明									
安部まこと									
春山なな									
北川ひろし									
倉内まこと									
佐々木たかし				1 (17)					所用1
木本たもん			1 (19)	3 (17)	4 (19)	1 (23)	1 (18)	2 (17)	所用12
小泉としお				1 (17)					所用1
八武崎一郎								1 (19)	所用1
光山みのる								2 (17)	所用2
かとう 学									
藤原阿紀子						1 (23)			所用1
五十井八恵子				2 (22)		1 (17)			所用1・病気2
土田アイ子									
酒井 実									
渡辺 清一									
安田 明		2 (22)		2 (22)					所用4
いなみ和夫									
松下あきお									
花島 貞行				1 (17)					所用1
齊藤くまぞう									
吉越 邦夫									
田辺 達昭		1 (17)						1 (23)	所用2
松本ひろよし									12年11月9日辞職
河野ゆりえ									13年5月31日辞職
島村かずしげ				1 (17)		2 (3)	13年6月12日辞職		所用3
川口としお						2 (3)	13年6月12日辞職		所用2
田中 けん		1 (17)					13年6月15日退職		所用1
片山とものり							13年6月15日退職		

( )内の数字は、本会議及び常任委員会の開催日数

4月27日(日)は江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙の投票日です。

# 予算特別委員会

予算特別委員会は、2月24日から3月10日までの間、一般会計と四つの特別会計の各予算案について、慎重に審査を行いました。

一般会計の歳入の審査では、長引く景気低迷の影響により、歳入規模が落ち込む反面、人口増や高齢化による行政需要の増加が予想されることから、区民生活の安定のため、健全財政を堅持し、民間活力を利用するなど、更なる改革の推進に努めるよう要望が出されました。

歳入の審査では、長期計画実現のための新たな施策や、福祉施策、子育て支援、産業支援、都市基盤の整備、教育行政などについて、広範囲にわたり詳細な質疑が交わられました。委員会での審査を踏まえ、3月19日の本会議で採決の結果、一般会計予算案及び国民健康保険事業・老人保健医療・介護保険事業の各特別会計予算案は、賛成34・反対4、用地特別会計は全会一致で、それぞれ原案のとおり可決されました。

なお、一般会計予算の総額と歳入歳出の一部及び介護保険事業特別会計予算の歳入の一部について、委員会に修正案が提出され、否決されました。

予算特別委員会委員 (委員長 副委員長)	
小泉 としお	かとう 学
酒井 実	五十井八恵子
竹内 すすむ	渡辺 清一
細部 葉子	いなみ 和夫
山崎 さとる	松下 あきお
安部 まこと	斉藤くまぞう
倉内 まこと	
木本 たもん	



予算特別委員会の様子

## 平成15年度 予算に対する 各会派の意見

### 自由民主党 (賛成)

デフレの進行による我が国経済の危機的状況は、未だ将来展望が開けない中、企業倒産の増加、失業率の上昇、株価の下落など一段と深刻化しております。本区の財政収入の根幹を成す特別区税、特別区交付金の状況を見ますと、特別区税は決算ベースで、平成10年度428億円あった歳入が、11年度409億円、12年度、13年度はともに400億円、14年度は400億円を下回る見込みであり、本区の自主財源が大きく減少の一途となり深刻な影響を与えております。特別区交付金におきましても、決算ベースにおいて平成11年度621億円、12年度728億円、13年度751億円、14年度713億円、15年度予算では692億円の見込みとなっており、12年度、13年度はIT景気による一時的な増収があったものの、14年度から

は大幅な減少に転じ、本区の財政運営にとって極めて大きな影響を与えてきております。一方、毎年の人口増、7千人の出生による子育て支援の必要性、23区でも若い区と言えども確実に進んでいる高齢化、失業率5.5%に象徴される長期不況による生活保護費等の扶助費など、行政需要は益々増加の一途をたどっております。

このことは、各年とも基金の取り崩しによる予算編成が行われ、15年度予算においても、55億円を基金から取り崩して予算編成をせざるを得ない状況に至っており、まさに財政運営に余裕のある状況とはいえません。

このような厳しい我が国経済の影響を受け、本区財政状況を踏まえ、本区は平成13年に「健全財政推進本部」を立ち上げ、16年度までの四年間に、人件費等抑制効果142億円、施策の見直し等による効果83億円、合計経費節減効果225億円を目的に健全財政の確保に向けた努力、取り組みが行われていることを高く評価します。

いかなる施策も財源の裏打ちなくして推進

することはできません。

新年度は新長期計画の実質的スタートの年と位置付け、新規47事業、拡充55事業など将来都市像を実現するための基本目標とする施策が盛り込まれています。

区政の使命として本区が掲げる「厳しい時代の時こそ、区民生活を守り、安心と希望の持てる地域社会の実現」に向けた積極的施策として高く評価しています。

よって、平成15年度各会計歳入歳出予算案について、原案のとおり賛成します。

【主な要望】  
健全財政堅持のため、将来を見据えて、改革努力に取り組むこと。  
青少年の翼事業はヨロコバやアジアも視野に入れ一層の拡大を。

蓄等については、民間企業や各団体と協議し、区民が安心して生活できる環境整備を強く要望する。

健康サポートセンターでの子育て広場事業、熟年者への介護予防、自立、支援などあらゆる世代の交流などの取り組みに期待をかけるながら充実を望む。

インフルエンザ等の感染症の免疫蓄積がない小中学生などの感染症弱者に対する今後の対応について、積極的な検討を望む。

各種資金融資事業について、返済期間の延長を望む声も大きく、検討を要望する。

メトロセブンの早期実現に向けてあらゆる角度からの検討と関係自治体の果たす役割を十分に認識して、あらゆる努力をすること。  
土地区画整理事業は、本区の街づくりにとって重要な施策である。各地域の事業が早期に実現できるよう都への働きかけなど最善の努力を要望する。  
小松川地域の中学校建設問題は、地域住民の永遠のテーマであり、その芽を摘み取ることもなく、中学校建設のための努力を引き続き行つよう強く要望する。



すくすくスクールは、現在の教育が抱える諸課題に対して、かなりの効果が期待できるので、地域との連携を密にしながら、区内全域に広めていく努力を求める。

### 公明党 (賛成)

平成15年度予算の審議にあたり、厳しい経済環境のもとで、「自助、共助、公助」の社会での役割分担、環境との共生社会、子育て支援、高齢社会に対応した福祉施策の充実、将来にわたって住み続けられる快適で安心できるまちづくりの推進、産業振興策、教育改革、文化振興の充実などにどのように取り組んでいるか、更には本区の未来像を含めた施策はどうあるべきかなど、多岐にわたり論議してきました。

その結果、厳しい財政状況の中、新規・拡充合わせて102の事業が盛り込まれ、区民生活を盛り上げようとする努力が見られることから、各会計歳入歳出予算案に賛成します。

【主な要望】  
区民税や財政調整交付金の先行きが不透明

地域施設と位置付けているコミュニティ会館については、他地域の人々の利便性なども十分考慮した運営を求めます。

なことから、健全財政の堅持に一層の努力を。仮称「総合人生大学」は、区民の関心も高いこともあり、単なる地域的で、サークル的なものにとどまらず、住民に夢と希望を与え、更には外国語や質の高い教養講座を含めたものにすること。

「青少年の翼」事業は、参加者が世界の人々と交流し、その国の文化や生活習慣を学び、国際交流の一端を担うことができるようにすること。

本年8月から住民票、印鑑登録証明書の広域発行が可能となり、年末には区内8カ所に自動交付機が設置されるが、個人情報保護には万全を期すこと。

区民施設のバリアフリー化に順次取り組むこと。中でも必要性の高い清新町コミュニケーション会館にエレベーターの早期設置を求める。



公衆浴場については、行政支援と併せて、将来をも見据えた今後の対策を求める。エコセンターは、区

民とともに環境啓発や環境教育を進め、地球環境を守る拠点となるセンターにすること。

新たに作成された地域防災計画については、より実態に即した計画になっていることを評価するが、今後ともあらゆる分野の対策が一層きめ細かく充実されることを求める。

東京臨海病院の土曜日診療の早期実現を。また救急夜間の対応について、一部区民から苦情が出ていることから、病院に対し改善の働きかけを求める。

区民から強い要望がある療養型病床群の充実に一層の努力を。ケアマネージャーの資質向上と連携強化を。熟年者の住宅居住支援策が、効果あるものとなるよう不動産業者と十分な協議を求める。

バス路線空白地域におけるミニバス運行について、更なる検討を加え、バス不便地域の解消を求める。本区南北交通のカギを握るメトロセブンについては、地下鉄に限らずモノレール、その他新交通システム導入も視野に入れ、一日も早い実現を期待する。

小松川地区再開発については、地域住民の

声に耳を傾け、住環境の向上と街の活性化につながるよう、今後とも関係機関に働きかけをしていくこと。

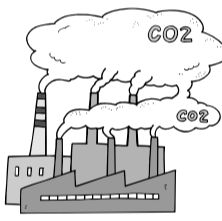
心身障害学級の今後の増設と、家庭教師を希望する障害児・保護者に対し、教育委員会で情報提供ができる体制づくりを要望する。すくすくスクールは、大変すばらしい事業であるので、全学校に広めること。

私たちは人権の尊重と環境問題を優先する視点が、平成15年度予算案の主要施策の中に大きく位置付けられたことを評価します。現代社会において、暮らしが日々便利になつていくことが、食や環境、人々の心の健康の問題など、身近な生活にも大きな影響を与えていることも事実です。こつしたなかで、区民の「安全・安心」を守っていくことがより求められています。このような観点を重視しながら、予算が区民に公正・適正に使われ、区民生活を豊かにする努力がなされていくと判断し、各会計歳

生活者ネットワーク・民主党 (賛成)

入歳出予算案に賛意を表します。

【主な要望】男女共同参画社会の実現に向けた計画づくりは、女性センターと協力して進めること。人づくりという面で「(仮称)総合人生大学」構想に期待する。屋上緑化や太陽光発電の積極的導入と区内各事業所や家庭にも広げていくこと。NPOを信用保証協会の対象とするよう強く働きかけること。行政、事業者、区民の役割を示し、実効性ある環境対策を。



リサイクルからリユースへのライフスタイルの転換を図り、ごみゼロ社会の実現を。子どもが利用する区施設内の空気検査を保健所が率先して実施を。障害者支援ハウスを地域に開放し障害者の雇用確保と自立支援を。小松川地域は施設要望を踏まえ、よりよいまちづくりの推進を。育児参加を促進するため男性用手洗所にペーパーチエア等の設置を。

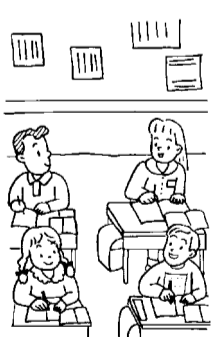
教育委員会は「笑顔で通える学校づくり」を具体化し進めること。小松川防災拠点内に新たな発想で学校をつくり、まちの活性化を。ケアマネージャーの質の向上や利用者の理解不足等の課題やケア会議の開催に努力を。

日本共産党 (反対)

新年度予算について、区民のくらしを守ることを第一に位置付けているか、国や都の区民を苦しめる政治に対しどのような態度をとっているか、行政の基本姿勢において、区民が主人公という民主主義の姿勢を貫いているかという観点に基づき、慎重に検討した結果、重大な問題点があり、平成15年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険事業特別会計の各予算に対して反対する。

区民の目線に立ち、区民生活を守るために予算修正案を提出した。【主な反対理由】公立保育園でのゼロ歳児保育を実施しないことや、支援費制度実施に伴う育成室の有料化等、区民の切実な要

求に心えない行政姿勢。認証保育所の拡大や学童クラブ指導員の非常勤職員化、また学校給食調理業務等の民間委託の推進により、区正規職員を約二百名も削減し、区民サービスの向上が図れるのか。30人学級への消極姿勢と子ども達の成長に及ぼす教育的影響について、本質的検討をしないまま、学校選択制を導入する姿勢。



国に対し、消費税増税や医療費三割負担導入に反対しない姿勢。住基ネットを切断する場合の根拠条例を定めないことや、既に根拠のない同和事業の予算化に明確に反対する。国民健康保険事業特別会計は保険料の値上げがあり、反対する。老人保健医療特別会計は窓口負担の軽減に消極的なため反対する。介護保険事業特別会計は保険料を引き上げるため反対する。

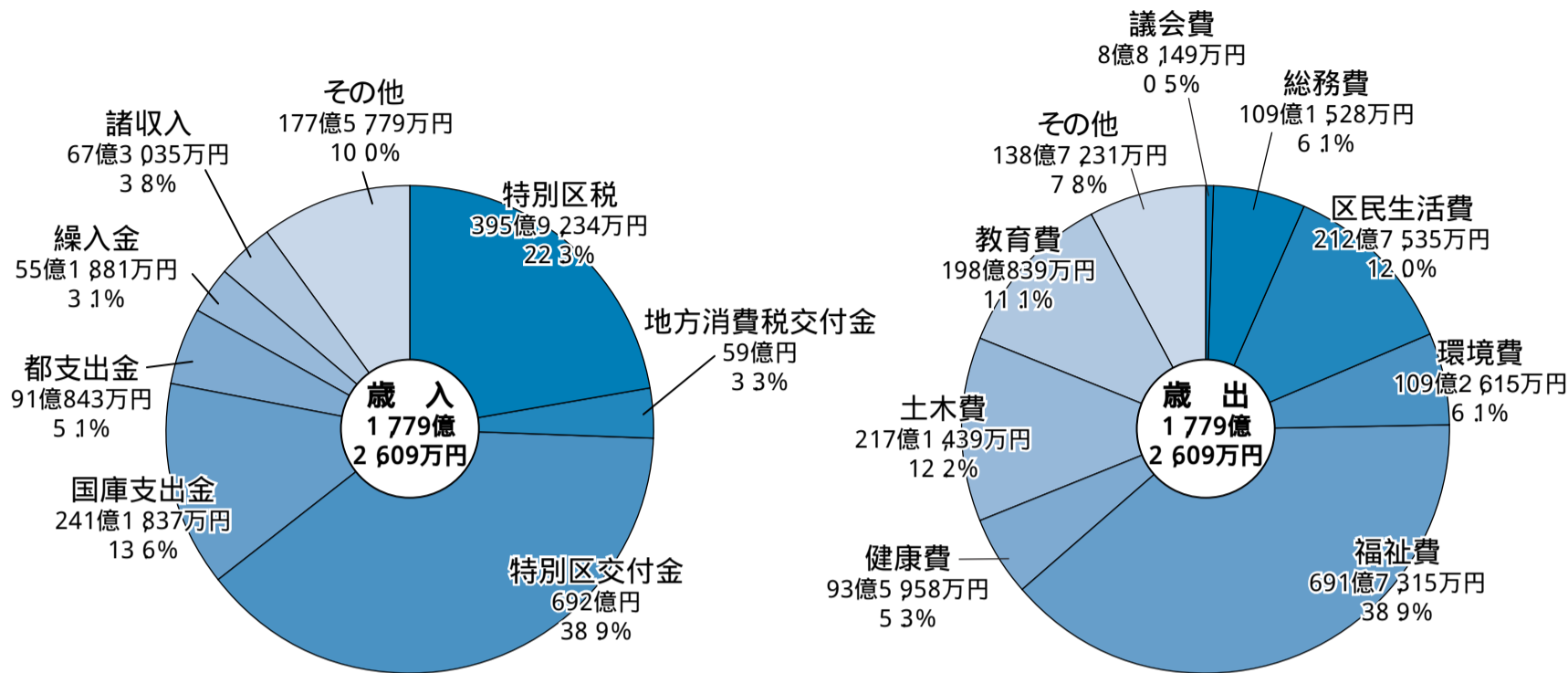
社会民主党 (賛成)

本来、地方自治体の財政は、義務的経費と投資的経費とのバランスが良いことが理想であるが、そのどちらかに力点を置くかは、その予算を策定する機関の政策であり、戦略を念頭においた手法にかかっています。その意味で、本予算案は長期計画の実行を視野に入れ、区民全体の幸せをしっかりと定め、義務的経費の面において、新しい視点と感性を取り入れた努力が見受けられます。単にコスト主義に走らず、行政とは何かという哲学・経営理念を確立して、65万区民の「命と生活、ゆとりと平和」を支え、いつまでも永住できる「まち」江戸川区をより一層目指し、執行にあたっては、今後もこれまでの水準を低下・後退させることなく、責務と自信を持って進められることを強く望みます。



# 平成15年度予算の概要

## 一般会計予算



金額は1万円未満切り捨て  
四捨五入しているため、構成比の合計が100%になりません。

## 特別会計予算

国民健康 保険事業	540億4,096万円	老人保健 医療	360億5,059万円	用地	2億7,027万円	介護保険 事業	179億9,840万円
--------------	-------------	------------	-------------	----	-----------	------------	-------------

## 主な新規事業・重点事業

### 未来を担う人づくり

- 私立保育園の定員枠の拡大 私立保育園等委託費 41億7,203万円
- 認証保育所の新設 認証保育所助成費 4億2,216万円
- 子育てひろば事業の充実 154万円
- 鎌田小学校すくすくスクールの実施【新】 1,648万円

### 学びと協働による区民文化づくり

- (仮)江戸川総合人生大学の構想実現に向けての取り組み【新】 171万円
- 男女共同参画を推進するための計画づくり【新】 525万円
- (仮)東 西地区区民施設の建設【新】 6,203万円
- (仮)「青少年の翼」事業の実施【新】 1,905万円

### いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

- こころの健康ホットラインの設置【新】 364万円
- (仮)在宅介護施設緊急整備事業【新】 5,787万円
- 在宅介護のための生活支援サービス事業 6億8,523万円
- 支援費制度の実施【新】実施者分 24億6,563万円
- 障害者支援ハウスの開設【新】 2億6,560万円
- 障害者(児)歯科診療所の開設【新】 424万円
- バリアフリーマップの作成 550万円

### 活力を創造する産業づくり

- 中小企業振興事業資金融資の充実 13億5,459万円
- 産業情報ネットワークの構築 927万円

### 区民参加による環境づくり

- エコセンター・環境行動指針の原案策定【新】 983万円

- 粒子状物質減少装置の装着に関する助成【新】 5,000万円
- ごみ減量キャンペーンの実施【新】 110万円
- 有害化学物質の測定 1,132万円

### 区民の暮らしを力強く支えるまちづくり

- 土地区画整理事業(9地区) 74億8,122万円
- 木造密集市街地の改善(9地区) 2億6,885万円
- 都市計画道路の整備(9路線) 23億940万円
- 災害用備蓄物質の拡充 1,058万円

### 区民本位で効率的な区政運営等

- 自動交付機の設置(区内8か所)【新】 5,573万円
- 電子入札の実施【新】 436万円

## あとがき



区議会だより第161号をお届けいたします。本号は、第一回定例会の内容を中心に編集いたしました。これからわかりやすく親しみやすい紙面づくりを目指して、努力してまいります。

区議会だより編集委員会  
すが 精二  
安田 明  
五十井 八恵子  
セバタ 勇  
(委員長、副委員長)

宇田川芳雄議員逝去  
宇田川芳雄議員(自由民主党)は、1月23日病気のため逝去されました。享年76歳。氏は平成3年区議会議員に初当選以来3期を勤め、その間、区民福祉委員会委員長をはじめ、西南部地域開発特別委員会委員長、建設委員会委員長などを歴任し、区政発展に多大な功績を残されま

り、謹んでご冥福をお祈りいたします。